



## 6年生の武石移動教室は大成功！そして秋の運動会を見据えて

校長 海老沼 寛之

あじさいの花が色鮮やかに咲き誇り、梅雨の晴れ間から差し込む日差しには、本格的な夏の訪れを感じる季節となってきました。明日からいよいよ7月です。4月から始まった一学期も締めくくりの月（登校する日はあと14日）を迎えます。この一学期の間に子供たちは、新しい学年やクラス的环境になじみ、日々の授業はもちろんのこと、当番・係活動や委員会活動など、それぞれの役割において一步一步着実に成長してきました。

### 6年生：武石移動教室を振り返って ～子供たちがつかんだ三つの宝物～

そんな中、今月中旬の6月15日（月）から17日（水）までの三日間、6年生は「武石移動教室」に行ってきました。学校という慣れ親しんだ日常の枠組みを飛び出し、家庭からも離れ、大自然に囲まれた雄大な環境の中で過ごしたこの三日間は、子供たちにとって、単なる楽しい思い出づくりにとどまらない、極めて大きな意義をもつ素晴らしい機会となりました。

今回の移動教室を迎えるに当たり、6年生は事前に綿密な計画を立て、一人一人が役割と責任をもって準備を進めてきました。その出発前からの姿にも深い感銘を受けておりましたが、現地での三日間の生活は、子供たちの可能性が更に大きく開花した時間となりました。この移動教室を通じて、子供たちは大きく分けて以下の三つの確かな力を育み、素晴らしい総括を行うことができました。

第1に、「主体的に行動する力」の開花です。

学校生活とは異なり、移動教室では分刻みのスケジュールを自分たちで管理し、動いていく必要があります。「次の行動は何時か。」「そのために今、自分は何をすべきか。」ということ常意識しなければなりません。現地での子供たちは、時間を意識しながら、声をかけ合って次の準備を自主的に進めていました。誰かに指示されてから動くのではなく、自ら考えて行動するその姿は、まさに最高学年としての自覚と自分たちから動かなければということが行動に表れた瞬間でした。行動班、生活班、そして様々な役割の中で、自分の責任を果たそうとしっかり取り組もうとしていた真剣な眼差しや姿は、とても頼もしく輝いて見えました。この経験は、たてわり班、委員会、クラブ等、学校でリーダー的役割を務めている6年生にとって、大いに役立つと思います。

第2に、「仲間を信じ、協力し、助け合う力」の向上です。2泊3日の集団生活の中では、自分の思いどおりにいかないことや、予期せぬ小さなトラブル、あるいは体力的・精神的に少し苦しい場面も当然生じます。大自然の中でのハイキングや、慣れない共同生活のなかで、疲れが見え始めるときもありました。しかし、子供たちが素晴らしかったのは、そうした場面において、決して誰かを責めることなく、自然とお互いをカバーし合える優しさと強さをもっていったことです。「大丈夫？荷物を持とうか。」「あと少しだから頑張ろう！」といった温かい言葉が、いたるところで自然と交わされていました。友



達のよさを再発見し、互いを認め合いながら、一つの目標に向かって心をつにする。この三日間で培われたクラス、そして学年全体の深い絆と相互の信頼関係は、今後の学校生活を支える大きな財産になったと思います。卒業までの数ヶ月、更によりよい人間関係を築き上げて、開一小のリーダーとして引っ張ってほしいです。

第3に、これら全ての根底にある、「三日間を思いやり楽しめたこと」そのものです。主体性を持ち、仲間と協力し合えたからこそ、子供たちは心からこの移動教室を満喫することができました。美しい大自然に触れたときの歓声、キャンプファイヤーの炎を囲んで全員で踊ったときの弾けるような笑顔、部屋で友達と語り合った夜の時間。その全てが子供たちの心に深く刻まれる素晴らしい体験となりました。「楽しむ」ということは、決してふざけ合うことではありません。ルールを守り、やるべきことをしっかりと果たした上で、仲間と共に心を通わせるからこそ、真の楽しさが生まれます。子供たちは、その最高の形を自らの力で体現してくれました。

この武石移動教室での大いなる成長は、6年生にとって大きな自信となったはずです。学校のリーダーとして、この貴重な経験を今後の学校生活にどのように還元してくれるのか、これからの活躍がますます楽しみに、そして心強く感じられた三日間となりました。

昨日の全校朝会で写真を取り入れたスライドを見せながら子供たちに紹介しました。当の6年生はあの三日間を振り返ることができたことでしょう。そして、5年生以下の子供たちも、近い将来、自分たちもたくさん経験・体験ができるんだと、目を輝かせ、きっと期待に胸を膨らませていたことと思います。



2日目 畜産体験



2日目 ベルテ武石での夕食



3日目 黒耀石を使った作品作り

### 次なる挑戦へ ～10月・運動会に向けての重要なお知らせ～

武石で一回りも二回りも大きく成長した6年生が見せてくれた素晴らしいエネルギーと、全校児童の日々の頑張りを、私たちは次なる大きな目標へとつなげてまいります。

ここからは、秋に予定しております大きな学校行事、「**運動会**」の実施についての大切なお知らせです。

4月の保護者会でもお伝えしましたとおり、校舎の長寿命化工事に係る仮設校舎設置のため、校庭での運動会が実施できません。そこで、今年度の運動会は近隣の**北町西小学校の校庭をお借りして、10月17日(土)に実施**することが決定いたしました。子供たちにとっては昨年度の12月より校庭での活動が制限されてきましたが、この日は、広い校庭で思い切り躍動できる貴重な機会となります。

開催に当たりましては、以下のとおり、種目の精査や安全面での配慮に基づいた計画を進めております。どうぞ、内容の御理解と、実施に伴う御協力をお願いできれば幸いです。

#### 実施種目について (応援団、団体競技、団体演技)

今年度は、高学年児童で組織する「応援団」、学年ごとに力を合わせて勝利を目指す「団体競技(玉入れや台風の日など)」、そして学年のまとまりと力強い動きで一つの表現を織りなす「団体演技(表現・ダンス)」を中心にプログラムを構成いたします。広い校庭で、全校児童が心をつにして躍動する姿をお見せできる

よう、2学期に入りましたら各学年で工夫を凝らした練習を重ねてまいります。

### 徒競走・選抜リレーの見送りについて

一方で、大変心苦しい判断ではございますが、今年度は「徒競走」および「選抜リレー」の実施を見送ることといたしました。現在、本校の校庭は限られたスペースとなっており、直線や曲線を思い切り走り抜ける短距離走・リレー等の十分な練習環境を確保することが極めて困難な状況にあります。走る競技は一見シンプルに見えますが、全速力で駆け抜けるためには、事前の正しい走り方やコーナリング、バトンパスの練習が安全上どうしても不可欠です。事前の練習を行うことができないまま、本番の広い校庭でいきなり全力疾走を行うということは、転倒や衝突などによる怪我のリスクが非常に高くなり、安全面での大きな不安が生じます。また、練習していない種目をぶつけ本番で強いられることは、児童にとっても精神的・肉体的に過度な負担となってしまいます。子供たちの安全を最優先に守り、全員が安心して輝ける運動会にするための苦渋の決断であることを、どうぞ御理解いただけますようお願い申し上げます。



昨年度 団体演技

### 北町西小学校での事前練習と、保護者ボランティアへのお願い

本番を円滑かつ安全に迎えるため、運動会当日の直前である「10月17日の週」には、平日に数回、実際に北町西小学校の校庭へ赴いて練習を行う予定です。実際の広さや位置感覚をつかむための、非常に重要な練習となります。この事前練習に当たりましては、児童が学校から北町西小学校まで公道を安全に移動し、また現地での練習を安心して行うために、万全の安全管理体制を整える必要があります。教職員一同、引率や指導に全力を尽くしますが、移動経路や現地での見守りのため、保護者の皆様には5月8日に早宮小に行った新体力テストと同じように、「安全面での見守りボランティア」としてのお力添えをぜひお願いできたら幸いです。子供たちの安全な学びの環境を支えるため、皆様の温かいサポートが不可欠となります。運動会当日も含めて具体的な日程や募集方法など、詳細が決まりましたら改めて御案内いたしますので、お手伝いいただける方はどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



昨年度 応援団



昨年度 団体競技

6年生が武石で見せてくれた「主体性」、「協働」、「楽しむ心」は、これからも学校全体を引っ張る大きな推進力となっていくと思います。このエネルギーを全校児童へと波及させ、秋の運動会という大きな行事も、子供たち自身の力を最大限発揮し、最高の感動をつくり上げていけるよう、教職員一同、一丸となって指導・支援に努めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、これから夏本番に向けて、お子様の健康管理や体調維持への配慮など、引き続き御家庭でのサポートをお願いすることとなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。